

No.	都道府県名	市町村名 (活動拠点)	「家庭教育支援チーム」の名称	開始年月	活動名称	概要
1	青森県	東津軽郡今別町	今別町家庭教育支援チームT A Z U N A	2015年4月	今別町家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「公民館子ども教室」及び「子育てサロンほっとけーき」の主な2つの活動を通じて、乳幼児期からの保護者支援の企画を継続的にを行い、子どもたちの遊び・学びの場づくりや保護者のネットワークづくりに貢献している。</li> <li>・「支援者」と「被支援者」がお互いに顔と名前がわかる関係性が構築され、子どもたちやその保護者が安心感をもって活動を参加しているとともに、「被支援者」が体験教室の講師として活躍する場を創出するなど地域人材の発掘にも当チームの活動が寄与している。この地道なネットワークづくりが「被支援者」から「支援者」へ替わる循環をつくりだし、地域で子育てを支援しようとする人材を持続的に増やすことにつなげている。</li> <li>・公民館を拠点に子ども向けの体験教室を開催することで、同年齢層の子どもたちが1カ所に集まり、交流するきっかけをつくり出し、集団的な遊びや学びを享受する場をつくり出している。</li> </ul>
2	宮城県	大崎市	鹿島台家庭教育支援チーム「まあま」	2004年6月	家庭教育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成16年から切れ目なく長期にわたり、家庭教育講座、育児相談、子育て支援センター主催の親子参加型イベントの支援などの活動を続けている。</li> <li>・幼稚園や学校から依頼のあった家庭教育講座は、より多くの保護者が受講できるよう、PTA研修会や入学説明会時に開催するなど開催の工夫を工夫したり、学校等のニーズに合わせてたりして、より多くの受講者が参加しやすい環境を創出し、活発に活動している。</li> <li>・各地域の子育て支援センター、幼稚園、小学校、中学校をメインに支援活動に取り組み、地域全体でかわりかかるとような関係構築に努めてきたことで、依頼も年々増加している。</li> </ul>
3	秋田県	湯沢市	湯沢市家庭教育支援チーム「和輪人」	2017年7月	湯沢市家庭教育支援チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校内のスペースや公共施設を利用した「お茶っこサロン」の実施や広報誌「わわっと通信」の発行など、地域において学びの場や情報の提供を積極的に進めており、社会の変化に対応しながら、家庭でのがんばりに寄り添い、地域とのつながりづくりに尽力している。</li> <li>・地域学校協働活動推進員、民生児童委員、元教員、PTA関係者等で構成されているチームである。チームリーダーは県教育施設主管の家庭教育支援指導者等研修において講師を務めており、県内家庭教育支援チームのモデル役を担っている。</li> <li>・地域の特色を生かしながら、家庭のニーズ、地域住民の意向を運営に取り入れ、様々な事業を通して「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環を生んでいる。</li> </ul>
4	福島県	郡山市	郡山市家庭教育支援チーム のびのび子育てサポーター	1993年4月	家庭教育ふれあい事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館等を利用して、乳幼児期から就学前の子どもと保護者を対象とした「のびのび子育て広場」を年間48回開催し、家庭教育力の向上と子育てネットワークの形成を図っている。</li> <li>・毎週水曜日に「はやママサロン」を運営し、参加者同士の育児相談や仲間作りが円滑に進むように、見守りや助言を行っている。</li> <li>・子育てサポーター会議や研修会を実施し、サポーターのスキルアップと効果的な事業の運営ができるように努めている。また、事業への参加者が新たにサポーターとなって活動するなど、持続的な取組となっている。</li> </ul>
5	茨城県	鹿嶋市	鹿嶋市家庭教育支援チーム	2017年5月	鹿嶋市訪問型家庭教育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における中断期間があったものの、家庭教育支援を6年以上続けている。市内小学校1年生の子をもつ全ての家庭と再訪問を希望する家庭を対象に、支援員2人1組で、困り感を抱える保護者の身近な話し相手となれるよう傾聴し、届ける「アウトリーチ」ペルト型の支援に取り組んでいる。</li> <li>・訪問し、支援が必要な家庭には、その状況を踏まえながら、学校、行政機関（教育委員会内、教育センター、健康福祉部、保健センター）、関係機関（ソーシャルワーカー、福祉事務所、児童相談所）につなぎ、重大事案に発展しないよう未然防止に努めている。</li> <li>・就学時健康診断や入学後に、支援員の似顔絵が描かれたチラシを配布し、保護者に親しみを持ってもらえるよう周知を図っている。</li> </ul>

【令和5年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰】被表彰活動等一覧

No.	都道府県名	市町村名 (活動拠点)	「家庭教育支援チーム」の名称	開始年月	活動名称	概要
6	群馬県	みどり市	家庭教育支援チーム とまり木	2016年10月	あたたかい居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>市、企業、学校、公民館や農業関係者など、多くの団体と連携して活動を行い、地域全体で家庭教育支援の充実を図っている。</li> <li>居場所づくりの一環である「とまり木食事会」は、コロナ禍でも「お弁当配布」や「出前食事会」等、活動を工夫し継続し、現在は当初の形に戻して活動している。</li> <li>多くのメンバーが食品衛生責任者の資格を取得し、学校や地域の方への活動の理解を求めするなど、効果的かつ持続可能な運営を行っている。</li> </ul>
7	千葉県	長生郡睦沢町	睦沢町家庭教育支援チーム	2020年10月	家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭教育アンケートや日常の子供たちや保護者との関わりの中で、家庭教育への認識や必要な支援を把握し、講演会や懇談会、座談会のテーマとして開催している。また、家庭教育学級、教育ミニ集会などの学校行事やPTAとの連携により、公民館や学校支援ボランティア等の地域人材の活用がなされている。</li> <li>子育てサークルや親子懇談会での交流が、課題の解決につながり、また、現役世代の考えや見方を知る機会として、チームの活性化につながっている。</li> <li>子供の居場所づくりのスタッフとして、支援の必要な児童や保護者へ寄り添い、個別の支援をしている。</li> <li>家庭教育支援チームが、家庭教育支援活動を支え、教育、福祉、企業等と「地域で子供を育てる」気運を高め、コミュニティ・スクールの向上に寄与している。</li> </ul>
8	千葉県	千葉市	こもんず	2008年4月	千葉市家庭教育支援チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域全体で家庭教育を支える基盤づくりを進めることを目的に2008年4月に結成。地域の行政機関・学校等と綿密に連携を取り、家庭教育支援のコーディネート役としての存在となっている。</li> <li>子育てに悩みや不安を感じている保護者の方に「こもんずカフェ」（個別相談）と「こもんず広場」（子育て井戸端会議）を提供している。</li> <li>小学校新入生の保護者に対して講座を計画的に実施している。多くの家庭から要望があった、ツボミスクールや公民館の講座と連携した性教育講座などを意欲的に計画している。会場まで足を運びにくい家庭にはZoom等を利用してリモートで参加できるようにしている。</li> <li>令和5年度から情報紙を配付のみでなく、小・中学校でメール配信をしている。</li> </ul>
9	東京都	八王子市	星とおひさまFikaキャラバン	2014年4月	ババママ支援ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の保護者会というタイミングを捉え、出前方式で、ワークショップを開催するなど、子育て中の家庭へ事業を届ける独自の取組を行っている。また、実施時には、当該小学校の関係者(管理職、教員、学運協、PTA等)と事前調整を綿密に行い、派遣するファシリテーターやプログラムについて検討している。</li> <li>学校はもとより、学校運営協議会やPTA等、地域の関係者が参画する仕組みを工夫し、保護者や子供たちの状況を反映した取組を行うなど、効果的なプログラム運営に努めている。</li> <li>こうした小学校におけるワークショップは、実施した学校の評価も高く、成果として、年々実施を希望する学校が増えている</li> </ul>
10	新潟県	村上市	with～NPO法人村上ohanaネット、NPO法人おたすけさんぼく、NPO法人ここスタ、ふくちゃ部、放課後等デイサービスおひさま合同チーム～	2018年4月	村上市家庭教育支援チーム事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>村上市内を中心に家庭教育支援を実施している5団体の合同チームである。各団体の活動内容や支援の対象は異なり、多岐にわたるが、共通して様々な状況にある子どもや若者及びその家族に対する支援活動を行っている。</li> <li>合同チームであるため、事務局となる代表団体が各種連絡調整、議事進行等を行っている。SNS等を活用し、日頃からこまめな情報交換や連絡を行い、定期的に対面やオンラインでのミーティングを行い、情報共有やケース会議、連携して行う事業の相談等をしている。</li> <li>家庭教育支援に関する講座や学習会・交流会の開催を定期的に行っているほか、令和4年8月豪雨災害の際には被災地域の親子のケア事業を行うなど、地域で発生した問題に対して積極的に取り組んでいる。</li> </ul>

No.	都道府県名	市町村名 (活動拠点)	「家庭教育支援チーム」の名称	開始年月	活動名称	概要
11	岐阜県	可児郡御嵩町	御嵩町家庭教育支援チーム	2005年4月	御嵩町の家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年より活動をスタートし、社会情勢や家庭環境の変化により、活動の継続が難しい時も、その時代にあった支援方法を模索し続けてきている。</li> <li>家庭教育学級を地区ごとに開催することで、地域の親同士のつながりをつくり、深める工夫をし、親のニーズをとらえたアイデア溢れる学級（講座）の企画・運営で、親への家庭教育支援を切れ目なく続けている。</li> <li>チームが発行する「きずな通信」や子育てサロンでの相談体制においても、保護者と一緒に子育ての悩みや不安の解決方法を見出すことを大切にされた保護者への献身的なサポートが見られる。</li> </ul>
12	愛知県	稲沢市	NPO法人ふぁみりい・らぼ	2010年6月	稲沢市家庭教育支援チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年6月、学校に行きづらさをもつ子供たちに、自宅以外、家庭以外の環境で安心して集う場を提供することを目的にフリースクール「tetote」を開設。定期的な保護者面談と同意のもと、学校や教育委員会と子供の相談・学習状況、情報共有を重ねている。2021年からフリースクール出席日が学校の「出席扱い」として認められている。</li> <li>市の委託事業として、毎週水曜日の午前中、0歳から未就学児とその保護者を対象に、おもちゃで遊び、気に入ったおもちゃを借りられる「おもちゃ図書館」を運営している。妊娠期からのつながりづくりを意図した関連イベントを本活動の中に設けており、妊娠・出産期からの継続したつながりを生む家庭教育支援活動が行われている。</li> <li>「子ども・若者食堂とてプラス」には、フリースクールのOB家庭やその子供たちが運営に参画しており、関係者の協働による「学びの好循環」が生まれている。</li> </ul>
13	京都府	福知山市	NPO法人 おひさまと風の子サロン	2007年9月	福知山市家庭教育支援チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の委託事業である「地域子育て支援ひろば すくすくひろば」では、子育て中の親子への居場所・交流機会の提供、子育て情報の提供や子育て講座やイベントの開催、育児相談等、地域子育て支援ひろば事業を実施している。</li> <li>育児相談には子育てコンシェルジュが対応し、必要に応じて専門職につなげている。SNSを活用した悩み相談には、24時間体制で対応している。</li> <li>福知山市の新生児訪問時に「すくすくひろば」のリーフレット・行事予定を配布することにより、市民への周知を図っている。子育てに関する情報を掲載した情報誌を年3回発行し、SNSを活用してイベント等の情報を発信している。</li> <li>市内の中学校や高校と連携し、中高生と、子育て中の親子とのふれあい学習にも協力している。</li> </ul>
14	大阪府	大東市	大東市家庭教育支援チーム「つばみ」	2016年4月	大東市家庭教育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭内の課題の早期発見、家庭の孤立の未然防止、地域とのつながりづくりの強化を図るため、ヘルプ型の訪問型家庭教育支援を小学校1年生の全家庭に対して1学期に実施している。</li> <li>保護者が気軽につどい、子育てについて学び、話すことができ、ほっと一息つける場として、「いっカフェ」を開催している。令和4年度は、市内公立全小学校（12校）でセミナー型の「いっカフェ」を実施したほか、工作などに取組みながらつるいでらう「サロン型いっカフェ」を開催した。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で訪問活動等が行えなかった際には、地域の情報に詳しいチーム員と知恵を出し合い、小学校区ごとに公園や公民館、地域行事等、子育てに役立つ情報を掲載した「地域資源マップ」を作成した。</li> </ul>
15	奈良県	磯城郡川西町	かわにしWAKU・WAKU+1 (通称：わくプラ)	2017年4月	子育て応援	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育ての孤立化を防ぎ、子どもたちを地域の温かいつながりの中で育てていけるよう、子どもたちや子育て中の人たちが地域のいろいろな人と出会い、ふれあい、つながる機会や場をつくるために活動している。メンバーが中心となってアイデアを出し合い、交流イベントの開催や子育て支援に関する講座の実施、子育て世代交流イベント「KAWANISHI SMILE FESTA」の開催等を行っている。</li> <li>子どもたちを地域の温かいつながりの中で育てていこう、子育て中の人たちが元気になる取組をしていこうという思いで集まった40代から70代のメンバー16名で活動している。新メンバーが加入する時には、スキルアップのための講座を実施したり、支援の基礎や子どもへの関わり方について学んでいる。</li> </ul>

## 【令和5年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰」被表彰活動等一覧

No.	都道府県名	市町村名 (活動拠点)	「家庭教育支援チーム」の名称	開始年月	活動名称	概要
16	和歌山県	東牟婁郡那智勝浦町	家庭教育支援チーム『はっとほーむ』	2016年10月	訪問型家庭教育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度以降、ヘルプ型の家庭訪問を軸にした活動に継続的に取り組んでいる。学校教育・福祉部局との連携・協力はもとより、医師、臨床心理士等専門機関とも連携を強めることにより、町全体で家庭教育支援を行うことができる体制を構築している。</li> <li>・対象学年（小学校1・3・5年、中学校1・3年）の全戸訪問実施については、児童生徒の怠学や登校渋り、ヤングケアラーの問題、保護者の虐待等様々な問題の未然防止に働きかける効果を上げている。傾聴に徹するチームの支援員に保護者が徐々に心を開き、子育ての不安や悩みを正直に話せる良好な関係性が生まれている。</li> <li>・広報紙「はっとほーむ通信」の家庭訪問等による配布だけでなく、町のホームページを活用した発信や、LINEによる個別相談の受付等様々な手法を取り入れ、相談者への手厚い支援体制を実現している。</li> </ul>
17	岡山県	真庭市	家庭教育支援チーム「ふらっと」	2015年6月	家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おしゃべり広場 ふらっと」を開催し、保護者の相談の機会やつながりづくり、子どもの遊びの機会（遊びの日）をつくっている。保護者同士のつながりから個別相談や臨時のおしゃべり会も実施するようになるなど、保護者とチーム員が顔見知りとなり、信頼を得、気軽に相談できる場づくりや関係づくりに励むことで、保護者の子育てにおける孤立化を未然に防ぐ役割を担っている。</li> <li>・各学校園、子育て支援拠点において、岡山県で作成した「親子応援学習プログラム」等を活用したワークショップ型研修会を開催することにより、保護者や学校園関係者に子育てに関する学習機会を提供し、保護者同士のつながりづくりや子育てへの不安解消につなげている。</li> </ul>
18	山口県	光市	あさなえ学園家庭教育支援チーム「あさらぶりん」	2019年4月	学べる・つながる・相談できる家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学べる・つながる・相談できる」家庭教育支援を基本コンセプトに、「学校と家庭と地域をつなぎ、子育て家庭を応援したい！」を合言葉に活動している。</li> <li>・「あさなえカフェ」は保護者や地域の方が気軽に利用できるサロンで、思春期の子どもをもつ保護者同士が子育ての悩みを共有・共感できる場となっている。中学生の子どもたち専用のカフェでは、子どもたちとチームメンバーの憩いの場となっており、子どもたちの居場所づくりとして効果的かつ持続可能な運営を行っている。</li> <li>・「あさなえしゃべり場」では、就学時健康診断の際に新入生保護者のグループに保護者サポーターが入って、先輩保護者が新入生保護者の悩みや相談にのったり、実際の学校生活についてアドバイスを行うなど、新入生の保護者の不安や悩みを軽減する場となっている。</li> </ul>
19	愛媛県	伊予市	伊予市家庭教育・子育てサポートグループ	2011年6月	家庭教育支援活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情に応じた組織を編成し、各チーム員の企画提案をもとに、市内幼稚園・こども園・保育所や小学校、更には地域の団体や企業、公民館とも連携・協力を図りながら、効果的かつ持続可能な運営を行っている。</li> <li>・親子参加型学習会「親子でまなそび（学び×遊び）チャレンジ」は、児童館や児童センターとの情報共有を密にしながら、利用者（保護者）の困りごとや要望等を的確に把握して企画・運営に取り組むなど、保護者、地域住民等の意見や状況等を反映した活動となっている。</li> <li>・長年の継続した活動や家庭教育情報誌「ほのぼの」の市内全戸への配布によって、学校・家庭・地域からの認知度や信頼度も高い。</li> </ul>
20	鹿児島県	大島郡徳之島町	徳之島町家庭教育支援チーム「つむぎたい」	2014年9月	家庭教育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て経験者や子育て中の方、NPO法人代表、不登校児支援に携わる方などでチームを構成し、LINE等で情報共有を図りながら、できる人ができる時間にできることを、それぞれのスキルを生かしながら活動している。</li> <li>・子育てサロン「まなナビ」は、保護者が必要としている講座を積極的に取り入れ、開催している。親子体験講座の開催や町教育委員会や各種団体と連携して、講演会を実施する等、子育て世代を中心としながらも幅広い世代への学びの機会を提供している。</li> <li>・親子で一緒に取り組む家庭教育啓発資料を作成し、保護者からも高評価を得ている。</li> <li>・若い保護者世代へ向けた啓発として、Instagramを活用し、子育てサロンや親子体験講座の案内や情報発信に取り組んでいる。</li> </ul>